

駅改名地元が後押し

伝馬町から熱田神宮伝馬町に

名古屋市営地下鉄名城線「伝馬町」駅は、地域の声の後押しもあって「熱田神宮伝馬町」駅に改名する方向となった。二十八日に市役所で開かれた有識者会議「地下鉄駅名称懇談会」では、全国から多くの参拝客が訪れる熱田神宮にちなんだ駅名変更案に、異論は出なかった。

「熱田神宮を中心に、街づくりをしたい」という地元の意見がある」。この日の懇談会で、座長の阿部亮吾・愛知教育大教育学部准教授は強調した。前回五月の会合では、市側は伝馬町駅を改名しないとする案を提示していたが、その後の地

元住民らの要望で「熱田神宮伝馬町」駅への変更案が浮上した。「熱田神宮伝馬町」とする案について会合では、漢字七文字が連続するなどから、途中に区切りを入れて「熱田神宮・伝馬町」とすることも考慮するべきでは、という意見も出た。ただ、名城線で名称が長い「ナゴヤドーム前矢田」駅も区切りがないことなどから、原案を採用する方向となった。

このほか会合では、これまで議論してきた地下鉄駅改名案も改めて確認。名城線「市役所」駅は「名古屋」にそれぞれ変更する方向で、屋城「駅」に、桜通線「中村区役所」駅は「太閤通」駅にそれぞれ変更する方向で、意見が一致した。

(池内琢)